



# 卓 話

廉価な代用品におされ、また伝統的な習慣が廃れ、婚礼の様式も変わり、小売の商店の減少もあり折箱の需要はとみに減少しています。そこで、失地回復を目指して現在、「お料理と健康」をテーマに安心して飲める、使える、美味しくなる水の生成器（医療用具承認番号取得）を提供しております。この水「還元水」でお料理を作ると、ご飯が美味しく炊け（サラダ、料理の味のランクUP）、酸化、劣化の時間を遅らせ新鮮さを保ち一段と味わい深くなります。狙いは、味・健康を願う消費者に喜ばれ、弁当の販売促進に繋がり、折箱販売の増加となるという仕掛です。皆様の水からはじまる健康で美味しい生活を応援いたします。

またエコ製品として再生する、木材を原材料としたデザイン箸、グッズの販売なども進めています。北海道のエゾ松の植林、育林も行っております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 「職業紹介」

鈴木武会員 向山会員 武田会員

### ★鈴木 武徳会員

老眼とは年齢に伴って近点が遠ざかり、近業に支障を来たす状態で、これを老眼または老視といいます。正視の人では40～45才頃より始まり、近視眼の人ではもっと遅く、遠視眼の人は、やや早く始まります。老眼は年齢による調節力の低下が原因です。

老眼鏡に関しては、人によって異なるので、一人一人検査の必要があります。手元を明るくした状態で30～40cmの距離で新聞の字が読める必要があります。拡大鏡は1の大きさを数倍の大きさにする道具で、老眼鏡とは異なる文明の器具であります。もっと詳しく知りたい方は、直接病院においで下さい。



### ★向山 功会員

職業分類は「包装資材卸」です。(株)向山商会は、一面では伝統的な「経木」を商い「問屋」を営んでおります。

昭和8年に祖父が同業社から独立し日本橋・堀留に店を開いたのが始まりです。当時は主に折箱の原材料である北海道産のエゾ松、四国、信州、秋田産等の赤松、杉、桧の板材（2～3mm厚）を成形加工の折箱屋さんに卸していました。戦争中は軍弁（列車移動時の軍隊向け弁当）の需要があり、また、戦前戦後は祭りや、伝統的な結婚式の鯛折、菓子折、赤飯折、料理折、駅弁等に使用されハレの行事、催しの必需品でした。また、薄経木（0.5mm厚以下の経木）は、納豆や魚、肉を巻く包材として使用され、経木の手札は野菜、魚、肉屋さんの日々変わる店頭価格の表示札に使われていました。昨今、合成樹脂製の



### ★武田 京子会員

私は、皆様ご承知のように税理士を業としております。通常はアルバイトさん一人を雇っており、忙しいときには他の税理士さんをお願いしたりしておりますが、原則一人でやっております。法人さんには、医療法人・宗教法人・建設会社・製造業・卸売業に小売業と、幅広い顧問先さんがいて下さいますし、個人さんですと、弁護士さん武術家、特に不動産所得の顧問先が圧倒的に多いです。また昨年は、5件の相続税申告をさせて頂きました。相続税申告は、「被相続人のお名前で作成する最後の申告書」であり、その方の生きた総決算とでも申しましょうか、私としては特に心して申告書を作成させて頂かなければと常日頃思っております。法人税や所得税と異なり、相続のお客様は皆様初めての方が多く、第二次相続を考慮して良く説明させて頂いた上申告書を作成する事で、少しでも安心、ご満足頂けるのではと思っております。

私のような職業の場合の「職業奉仕」とは、いかに顧問先に安心、ご満足して頂ける仕事出来るか



に関わっているのではないかと考えております。ただこの「満足」は、お一人お一人異なっておりますので、難しいところですが、合法的に税金をいかに抑えるか、節税対策や将来生じるであろう問題点を指摘する等もその一つだと思います。

例えば、私の顧問先の法人の会長さん・社長さんは、皆さん同族会社の支配株主であり、仮に株を持っている少数株主である従業員さんが退社する時に、支配株主である社長さんに、株を買って欲しいという場合、低額譲渡等売買金額によっては「みなし贈与」課税が発生する危険性があります。1株500円を1,000,000円で社長さんがその従業員に売ったからといって、その時価が10,000円の場合、1,000,000円で買い戻した場合など、当社にはこういう問題が将来発

生する危険がある事を進言したりします。

また、この度の小規模宅地の税制改正により、80%評価減が全額利用出来なくなるお客様がおりますが、その点を喚起する等、顧問さんの気が付かない問題点を、専門家として一早くご指摘させて頂く事も、満足度の要因ではないかと考えております。皆様も同じだと思いますが、私達の仕事もエンドレスですので、常にプライオリティを考えながら仕事をしております。

また職業奉仕の一つとして昨年からはじめた事があります。小学校、中学校を訪問し、租税教育の授業をさせて頂いております。まだ公私共に時間があまり取れませんが、税理士でなければ出来ない事ですし、落ち着きましたら租税教育の回数を増やしていこうと思っております。